

ふそう町民まつり 2018 開催!

10月20日(土)

政策調整課 内線 314

◆チラシ有料広告

ふそう町民まつりプロジェクトFでは、ふそう町民まつりの広報ふそう折込チラシに掲載する「有料広告」(1枠10,000円 カラー 縦約3cm×横約4.8cm)を募集しています。ご希望の方は、8月10日(金)までにお申し込みください。

◆第16回やろまい大祭 in FUSO 参加者

ふそう町民まつりで行う「第16回やろまい大祭 in FUSO」で踊っていただけるチーム(10人程度以上、持ち時間5分以内、扶桑町で活動しているチームに限ります。)を募集しています。参加ご希望の方は、8月7日(火)までにお申し込みください。

◆のど自慢大会

ふそう町民まつりで「のど自慢大会」を開催します。町民まつり当日の午前11時から受付を開始し、参加希望者多数の場合は抽選となります。詳しくは広報ふそう10月号でお知らせします。

◆1日ボランティア

10月20日(土)開催「ふそう町民まつり」を支えていただく当日のボランティアを募集しています。お手伝いしていただく時間は、当日の午前8時30分から午後4時ごろまで、高校生以上の方ならどなたでもOKです。ご希望の方は10月12日(金)までにお申し込みください。

▼問い合わせ 政策調整課

丹羽消防署

119番

花火・火遊びによる火災防止 ~花火は楽しく安全に遊びましょう~

夏の風物詩でもある花火は見てもやっても楽しいものです。しかし、ルールやマナーを守らなければ思わぬ火災や、やけどを負うなどの事故につながる可能性があります。

花火で遊ぶ前に、ご家庭でも子どもたちに花火のルールやマナーについて話し、安全に花火を楽しみましょう。

◆花火で遊ぶ時の注意点

○説明をよく読みましょう。

花火は各種検査を受け、安全と認定されたものだけに付くSFマーク(セイフティ・ファイアワーク)貼付の花火を購入するとともに、正しい使用方法や注意書きをよく読みましょう。

○大人と一緒に遊びましょう。

花火は危ないと怒られたため、子供たちだけで隠れて遊び、事故を起こした例が少なくありません。大人が積極的に参加して花火の正しい遊び方を指導してあげてください。

○水バケツを用意しましょう。

バケツの水に終わった花火をつけるようにしましょう。火災の危険を防ぐだけでなく、燃えカスなどで庭や道路を汚すことなく片づけることができます。

○ご近所の迷惑にならないようにしましょう。

住宅街で花火をするのは、ご近所トラブルの原因にもつながります。実際に、高く上がって音の出る花火がマンションなどに飛び込んで破裂し驚かせ、けがをさせた例もあります。人の迷惑にならない時間と場所を選んで遊びましょう。

○むやみに持ち歩かないようにしましょう。

花火は、危険物品です。郵便法、航空法の指定により、郵送や飛行機への持ち込みができません。クリスマスラッカーを飛行機に持ち込んだために飛行機の離陸が遅れた例もあります。



◆花火での事故事例!

- ・自宅前でロケット花火をしていたところ、かやぶき屋根の上に落ちて出火。(中学3年生 男子)
- ・打ち上げ花火にライターで点火したところ、着火と同時に打ちあがり、目と周囲を火傷(20歳 男性)
- ・花火を分解し火薬を容器に入れいじっていたところ爆発。親指の付け根を骨折(中学3年生 男子)

○火傷・熱傷をしたら

やけどは、熱いお湯や油が体にかかったり、炎やヤカンなどに触れたりすると起こります。あまり熱くない湯たんぽなどでも、体の同じ場所に長時間あたっていると低温熱傷になることがあります。

○応急手当の方法

- ・できるだけ早く、水道水などの清潔な流水で患部の汚れを落とすとともに十分に冷やします。溜め水だと雑菌感染の危険性や水温上昇による冷却不足の恐れがありますので、やけどをした部位にもよりますが、清潔な流水により冷却してください。
- ・衣類を着ている場合は、無理に服を脱がそうとせず衣類ごと冷やします。
- ・氷やアイスパックを使って長時間冷やすと、冷えすぎてしまい、悪化することがあるので注意してください。
- ・火事などで煙を吸ったときは、やけどだけではなく肺が傷ついている可能性があるため、救急車で医療機関に行く必要があります。
- ・やけどが大きい場合は、すぐに119番通報をしてください。

▼問い合わせ 丹羽消防署救急担当 本署 ☎(95) 5151 扶桑出張所 ☎(92) 3100 大口出張所 ☎(95) 0119